

9月定例会

豊川市議会第3回定例会（9月定例会）は、8月22日から9月17日までの27日間にわたって開かれました。

9月定例会では、市長から一般会計補正予算を始め6議案が提出されたほか、14年度の各会計の決算認定が14件、報告が3件、同意が2件、諮問が1件提出されました。

また、議員発議の意見書が4件、議員派遣が1件提出されました。

議案の内容

九月定例会で審議した案件は、次ページにある一覧表のとおりです。○の中の数字は議案番号です。その主な内容についてご紹介します。

■補正予算

⑤⑧ 一般会計補正予算は、歳入歳出に三千二百七十七千円を追加し、予算総額を三百五十二億千六百八十二万七千円とするものです。主な内訳は、本庁舎耐震改修事業費について二年間の工事割合の変更による減額を始め、佐奈川散策公園整備工事費や障害者地域生活推進特別モデル事業費を追加するものなどです。

■決算の認定

認定①から認定⑭までの十四議案は、平成十四年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算認定について承認を求められたものです。（概要は下表のとおり）

■条例の一部改正

⑥① 児童遊園条例の一部改正は、ブランコや滑り台等を設けた「樽井ちびっ子広場」を新たに設置するものです。

平成14年度各会計決算の状況

一 般 会 計					
歳 入			歳 出		
項 目 別	収入済額(万円)	割合(%)	項 目 別	支出済額(万円)	割合(%)
市 税	161億7,764.0	46.0	総 務 費	37億7,688.2	10.9
地方消費税交付金	10億1,582.1	2.9	民 生 費	81億3,511.0	23.5
地方交付税	38億4,592.2	10.9	衛 生 費	33億3,562.4	9.6
分担金及び負担金	12億3,426.1	3.5	商 工 費	9億9,255.4	2.9
国庫支出金	26億6,086.8	7.6	土 木 費	65億 463.8	18.8
県 支 出 金	14億5,574.8	4.1	消 防 費	18億1,034.9	5.2
繰 越 金	7億1,053.3	2.0	教 育 費	37億7,769.0	10.9
諸 収 入	13億2,037.6	3.8	公 債 費	36億1,315.7	10.4
市 債	37億1,093.9	10.6	諸 支 出 金	15億9,396.8	4.6
そ の 他	30億1,822.0	8.6	そ の 他	11億1,248.4	3.2
合 計	351億5,032.8	100.0	合 計	346億5,245.6	100.0
特 別 会 計					
会 計 名	予 算 額 (万 円)	収入済額(万円)	支出済額(万円)		
豊川西部土地区画整理	13億 730.4	12億8,601.7	12億7,105.1		
豊川駅東土地区画整理	12億 370.0	12億 373.1	11億5,741.9		
公 共 下 水 道	40億3,712.5	40億8,616.0	39億5,921.7		
農 業 集 落 排 水	4,730.0	6,330.0	3,939.9		
公 共 駐 車 場	2億2,812.0	2億2,919.5	2億2,666.7		
国民健康保険	80億1,781.0	81億1,452.5	77億8,325.9		
老 人 保 健	89億8,440.2	88億7,496.7	87億9,818.4		
介 護 保 険	34億9,481.7	33億 561.4	32億7,073.5		
在宅介護支援	1億8,132.6	1億8,029.1	1億6,761.6		
交通災害共済	4,050.0	4,081.2	2,992.4		
土 地 取 得	8億8,576.9	8億8,217.5	8億7,517.0		
企 業 会 計					
会 計 名	区 分	収入済額(万円)	支出済額(万円)		
水 道 事 業	収 益 的	23億7,973.5	23億 162.0		
	資 本 的	6億3,152.2	11億8,802.5		
病 院 事 業	収 益 的	88億8,335.8	87億9,762.2		
	資 本 的	4億2,458.6	10億2,571.9		

■契約案件

⑥② 市役所本庁舎耐震改修工事請負契約の締結は、本庁舎の耐震診断結果を踏まえ、制震ブレースや鉄骨ブレースなどの耐震改修工事を行うとともに、外壁周りのアルミ建具をカバー工法により取り替えるものです。

■同意案件

同意②・③ 教育委員会の委員の任命同意は、前任者の辞職と任期満了により新たに池田悦子氏（南大通）と山口康子氏（諏訪四丁目）の任命について、それぞれ同意を求められたものです。

■議員提出の意見書

意見② 義務教育費国庫負担制度

の堅持と学級規模の縮小を求める意見書は、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図る義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、行き届いた教育のための学級規模の縮小を強く望むが、見直しを図る場合は、地方への税源移譲と並行して行うなど一方的に負担を転嫁することのないよう併せて政府に求めるものです。

意見③ 県立豊川養護学校のマンモス化の解消を求める意見書は、豊川養護学校は、慢性的に教室やトイレ等が不足し環境的にも深刻な状況であり、また、スクールバスから通学に多くの時間がかかるので、通学者が特に多い豊

9月定例会の議決状況一覧

- 58 15年度一般会計補正予算(第2号)
 59 15年度老人保健特別会計補正予算(第1号)
 60 15年度介護保険特別会計補正予算(第1号)
 61 児童遊園条例の一部改正
 62 市役所本庁舎耐震改修工事請負契約の締結
 63 豊川駅東土地区画整理事業施行規程の一部改正
 認定① 14年度一般会計決算の認定
 認定② 14年度宝飯都市計画事業豊川西部土地区画整理事業特別会計決算の認定
 認定③ 14年度宝飯都市計画事業豊川駅東土地区画整理事業特別会計決算の認定
 認定④ 14年度公共下水道事業特別会計決算の認定
 認定⑤ 14年度農業集落排水事業特別会計決算の認定
 認定⑥ 14年度公共駐車場事業特別会計決算の認定
 認定⑦ 14年度国民健康保険特別会計決算の認定
 認定⑧ 14年度老人保健特別会計決算の認定
 認定⑨ 14年度介護保険特別会計決算の認定
 認定⑩ 14年度在宅介護支援事業特別会計決算の認定
 認定⑪ 14年度交通災害共済事業特別会計決算の認定
 認定⑫ 14年度土地取得特別会計決算の認定
 認定⑬ 14年度水道事業決算の認定
 認定⑭ 14年度病院事業決算の認定
 報告⑨ 14年度公共駐車場事業特別会計継続費の精算
 報告⑩ 土地開発公社の14年度事業報告
 報告⑪ 開発ビル株式会社の経営状況
 諮問② 人権擁護委員候補者の推薦
 同意② 教育委員会の委員の任命同意
 同意③ 教育委員会の委員の任命同意
 議決③ 議員派遣
 意見② 義務教育費国庫負担制度の堅持と学級規模の縮小を求める意見書の発議
 意見③ 県立豊川養護学校のマンモス化の解消を求める意見書の発議
 意見④ 国の私学助成の増額と拡充に関する意見書の発議
 意見⑤ 医薬品の一般小売店における販売についての意見書の発議
 認定①・②・③・⑥は賛成多数で、その他の議案は全員一致で原案可決。

橋地区に知的障害児の養護学校を早急に建設すること、スクールバスの増車を県に求めるものです。

意見④ 国の私学助成の増額と拡充に関する意見書は、長引く不況や少子化から私学は厳しい環境にあるので、私学振興助成法に基づく国庫補助制度の堅持と地方交付税交付金の充実などを強く望むが、見直しを図る場合は、地方への税源移譲と並行して行うなど一方的に負担を転嫁することのないよう併せて政府に求めるものです。

意見⑤ 医薬品の一般小売店における販売についての意見書は、一般小売店での医薬品の販売を利便性や経済性から安易に認めることは、新たな副作用被害などの影響が懸念されるので、安全性の確保と適正使用に関する情報提供に配慮し、慎重に対応するよう政府に求めるものです。

議案の審査

■本会議における主な質疑

★★報告⑪★★

(質疑) 前期と比較してテナントの家賃契約で変化はあるのか。

(答弁) 固定家賃契約のテナントが十店減少しており、収入では二・四割の減となった。経済状況などから売上歩合家賃契約に移行をしている。

■委員会における主な質疑

厚生委員会

★★⑥議案★★

(質疑) 児童遊園として位置付けた後の維持管理の方法は。

(答弁) 公園の設置後は維持管理課の所管となり、維持管理課では町内会や老人クラブなどに管理を委託し、電気や水道代を含む委託料を支払っているが、修繕や工事は市が直接支払いをしている。



東部窓口センターと豊川駅東土地区画整理事務所の移転先「旧ひまわり農協豊川支店」

建設委員会

★★⑬議案★★

(質疑) 新しい事務所での駅東区画整理課と東部窓口センターの配置は。

(答弁) 一階の一部を窓口センターが現在と同程度の広さで使用し、それ以外と二階を駅東区画整理課が事務室や会議室、作業室として利用していく。

予算特別委員会

★★⑤⑧議案★★

(質疑) 障害者地域生活推進特別モデル事業の中の、地域生活移行事業の内容は。

(答弁) 専任の地域生活推進員(仮称)を配置し、施設入所の障害者で地域での生活希望の方や、在宅での生活の継続を希望される障害者に対し、地域生活に向けた支援費対象サービス利用や施設サービスの活用などの相談のほかに各関係機関との連絡調整などを行う。

(質疑) 佐奈川河川環境整備事業の特色は。

(答弁) ふれあい公園の親水護岸以外に水辺に近づける施設がないことから、金屋小・中学校の近くの佐奈川で子供たちが容易に川に降りられるようにし、自然と触れ合える遊び場や課外学習の場として活用していく。

決算特別委員会

** 認定① **

(質疑) 市政運営全般を踏まえての一般会計決算に対する認識は。

(答弁) 行財政改革を推進し、削減した財源や地方債で、今に生きる私たちや次世代に生きる若者のことを考え、南部中学校の校舎建設や乳幼児医療費助成の拡大等を行った。今後は「行政改革プラン²¹」や「財政の健全化に向けて」により行財政改革をさらに進め、市民の負担にこたえていきたい。

** 認定④ **

(質疑) 公共下水道の整備は着手からすでに三十年が経過したが、埋設された汚水管の状態把握は。

(答弁) 汚水管の中にテレビカメラを入れて、亀裂やずれなどの傷みの程度を調査し補修方法や金額、順位などの検討を行っている。十四年度は、諏訪町駅前で約三百メートル調査を行った。

** 認定⑬ **

(質疑) 水道施設耐震診断業務委託の実施内容とその結果は。

(答弁) 一宮浄水場、大和水源、為当配水場、三谷原配水場について目視と資料収集による現地調査等を実施した。その結果、一宮浄水場では亀裂やひび割れの補修のため耐震壁の設置が必要であり、大和水源では管理棟の劣化が著しく耐震壁の設置と鉄筋補修の必要があるなどと診断された。十六年度



耐震壁の設置が必要と診断された一宮浄水場

において必要な補修工事を行ってきたい。

** 認定⑭ **

(質疑) 前年度と比べ一日平均の外來患者数が百十人減っているが、その要因は。

(答弁) 十四年度は診療報酬の改定があり、十四日間に制限されていた薬品の投与期間が一部の薬品を除き撤廃された。これにより、受診回数が少なくて済むようになり、このことが患者数の減少した大きな要因と考える。

討論

** 認定① **

(反対) 十四年度決算は、市税収入が落ち込む中、急ぐ必要のない大型公共事業を進め、公債費が増加傾向にある。今必要なのは市民の所得水準に合わせた国保料や保育

料などの引き下げであり、それにより安心して暮らせ、購買力もつくものである。本市の姿勢は市民の望む方向とは逆になりつつあると言わざるを得ず反対する。

(賛成) 十四年度決算は、歳入では有利な地方債の活用、国・県補助金の確保に努められ、歳出では人件費の削減、普通建設事業での真に必要な事業選択などに取り組みされた。公債費負担比率を始め、基本的な財政資本は全国レベルで上位にあり、財政運営の健全化に努められたと判断し賛成する。

** 認定③ **

(反対) この事業は、前年度と比べ大幅な支出増となっており市民にとつて多大な負担となる。また、関係住民と誠意をもった話し合いをするとしながら工事可能な部分から急ぐやり方は、住民に軸足を置くという点からは程遠い。住民の理解が得られない場合は、事業の見直しや凍結を行うことも必要と考え反対する。

(賛成) この事業は、私たちの生活に必要な道路、公園、排水施設などを始め、個々の宅地を利用しやすくする事業として進められてきた。新たな街区が完成し、家屋が次々に建てられるさまは、新しいまちづくりの息吹を体感するものであり、個性的で魅力あるまちづくりに向けて一層の進展を図られ、公共の福祉の増進に大いに成果を

上げられたと認め賛成する。

** 認定⑥ **

(反対) 諏訪公共駐車場の管理を全面的に開発ビル㈱に委託し、この特別会計から外したことは、本来、市に入るべき使用料収入を不透明にし、その収益が開発ビル㈱に流れているのではないかと考えてしまふ。諏訪公共駐車場を特別会計に組み入れ、透明性を高めることが必要と考え反対する。

(賛成) 諏訪公共駐車場と豊川駅東駐車場の利用実績は、ともに前年度を上回り適切な管理運営がされていると理解する。また、建設財源の市債は、大幅に低利で借り入れるなど、将来の負担軽減を図り、基金積立金も順調な使用料収入により予定どおり実施されている。経理の明確化もされていると判断し賛成する。



オープンから2年が経過した諏訪第2公共駐車場